

はたら 働く人たちはどんな仕事をしているのだろう？



下水道局の高橋さんのお話

私たちは1日24時間365日、水再生センターを動かし、よごれた水をきれいにし、川や海がよごれないよう守っています。たくさんの人たちが働いている水再生センターの中をご案内します。

中央かん視室

全体の様子（じょうよう）が分かる大きなモニターや、それぞれの機械（きかい）を操作（そうさく）するためのパネルなどがあります。昼、夜、深夜の3グループで交代しながら、この部屋からポンプ所とセンター全体を動かしています。



▲中央かん視室

水再生センター内の設備

大切なたくさん（たくさん）の設備（せつび）が、いろいろなどころにあります。これらが正しく動いているか点検（けんけん）して回り、修理（しゅうり）や、古（ふる）くなった機械（きかい）を新しくするための工事（こうじ）もしています。



▲設備の点検

水質試験室

処理（しゆり）をする工程（こうけい）のいろいろなどころから水を集めて、よごれた水をきれいにできているか、び生物（はたら）が働いているかなどをチェックする部屋（へや）です。結果（けつ）はセンターに連（つ）らくして、必要（ひつよう）に応じて機械（きかい）をコントロールします。



▲水質の検査



▲けんび鏡（きょう）でび生物（きようぶつ）の状態（じょうたい）をチェック

川や海はみんなのものです。例えばごみや油（あぶら）を流さないなど、下水道（たど）を正しく使うことで、私たち（わたし）といっしょに川や海をきれいにいきましょう。